

課題番号9

基本方針：Ⅱ	課題名：トマト果実収量の増加	
対象：トマト生産者	計画期間：H29～31	
	事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①裂果対策	品種検討会、巡回指導	品種選定 1品種 → 2品種
②難防除病害虫対策	天敵実証圃、指針の作成	出荷量増加 23.6 t → 26.1 t

総合評価(コメント)
<p>A:5名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食味や天候に左右されない品種導入に期待します。 ■普及活動は適切と評価します。トマトは人気のある野菜ですので、生産しやすくトマト味が濃い美味しい品種をみつけていただきたい。 ■生産者が行政に頼らず自助で課題解決できる仕組み作りをして欲しい。 <p>B:1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■夏秋トマト産地の課題を一点で捉えているように思われることから、もう少し課題の本質を探ってほしい気がする。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■本課題は次年度までの3カ年計画であるので、継続して取り組んでいきます。 ■指導対象の産地では、栽培面のほか、担い手育成や共同選果場の運営等の諸問題もあります。本課題は、大課題を「県産農・畜産物の生産力強化」として技術課題に特化した計画とし、夏秋トマト栽培で問題となっている裂果および難防除病害虫の対策を課題設定した。担い手育成については別課題として、地域おこし協力隊の就農支援を課題設定しています。 ■課題設定に対する生産者との関わりは、①生産者と協議して実証計画を立案、②現場での課題を生産者圃場で実践、③普及が調査とデータの処理、④生産終了後での反省会での協議という流れになっています。このように生産者と協同して課題解決に取り組んでいる状況です。